

2024年3月期 第1四半期 決算説明 資料

誇れる歴史がある
創りたい未来がある

株式会社 浅 沼 組

東証プライム市場

(証券コード：1852)



1. 業績（2024年3月期 第1四半期）	
（1）実績・進捗	P. 3
（2）受注の内訳	P. 4
2. 中期3ヵ年計画の進捗状況	
（1）維持・修繕事業（リニューアル）	P. 5
（2）生産労働人口の減少への対応	P. 8
（3）非財務経営活動（E S G ・ S D G s 等）	P. 9
3. Topics	P. 10

1. 業績（2024年3月期 第1四半期）



（1）実績・進捗

- 受注は国内建築民間工事の受注が大きく貢献し、前年同期比11,432百万円増
- 売上高・利益が前年同期比減少した理由は、2023/3期は工事の竣工が第1四半期に多くあった一方、2024/3期は下期に多くあることによるもの。通期計画は達成見込み

主要項目 (連結) (単位：百万円)	2022/3期			2023/3期				2024/3期			
	1Q 実績	通期 実績	進捗率 (%)	1Q 実績	通期 実績	進捗率 (%)	前年 同期比	1Q 実績	修正 計画	進捗率 (%)	前年 同期比
受注高	28,669	136,568	21.0	33,265	144,743	23.0	4,595	44,697	144,700	30.9	11,432
売上高	29,367	135,478	21.8	33,060	144,436	22.9	3,693	30,179	141,800	21.3	△2,881
売上 総利益	2,375	13,444	17.7	3,328	15,139	22.0	952	2,343	13,950	16.9	△984
売上 総利益率	8.1%	9.9%	—	10.1%	10.5%	—	2.0P	7.8%	9.8%	—	△2.3P
販管費	2,168	8,609	25.2	2,341	9,447	24.8	173	2,424	9,850	24.6	82
営業利益	206	4,835	4.3	986	5,691	17.3	779	△81	4,100	—	△1,067
四半期利益/ 当期純利益	133	3,748	3.6	760	4,200	18.1	627	32	4,540	0.7	△728
配当	—	* 363円	—	—	191円	—	—	—	197.5円	—	—
配当性向	—	78.1%	—	—	73.3%	—	—	—	70.2%	—	—

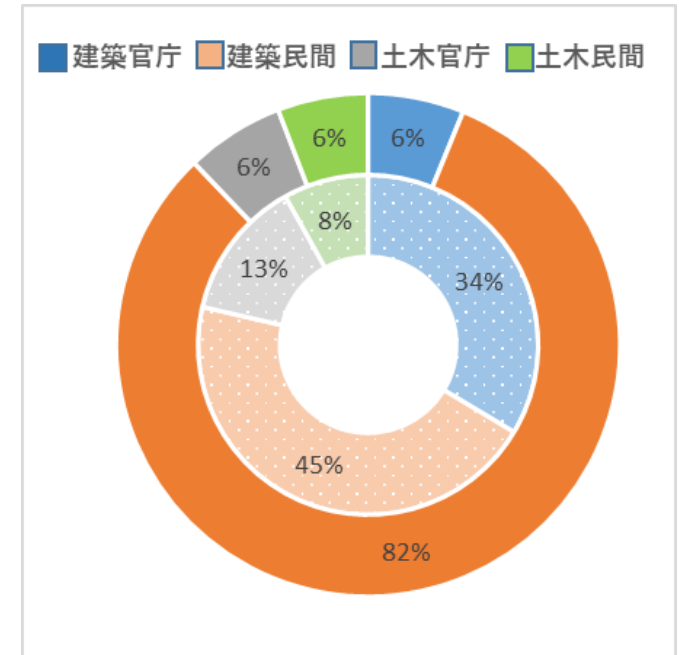
* 当社は、2022年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2022年3月期については、分割前の実際の配当金を記載しております。

1. 業績（2024年3月期 第1四半期）

（2）受注の内訳

- 国内（親会社単体）の受注は建築民間が主導し、堅調に推移
- 海外子会社における受注についても好調に推移

受注実績 (単位：百万円)		2023/3期	2024/3期	
		1 Q実績	1 Q実績	前期同期比
国内 (当社単体)	建 築	25,219	35,750	10,531
	官庁	10,779	2,505	△8,273
	民間	14,440	33,245	18,804
	土 木	6,873	4,937	△1,935
	官庁	4,277	2,571	△1,706
	民間	2,595	2,366	△229
	建築・土木 計	32,092	40,688	8,595
	官庁	15,056	5,076	△9,979
	民間	17,036	35,611	18,575
海外子会社		1,172	4,008	2,836
連 結		33,265	44,697	11,432



円グラフ：個別受注状況

外側：2024/3期 1 Q

内側：2023/3期 1 Q

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(1) 維持・修繕事業（リニューアル） ① 2024年3月期 第1四半期実績



- リニューアル事業は、中期3ヵ年計画最終年度2024/3期における目標である「建築リニューアルの営業利益を連結営業利益の35%以上」の達成に向け着実に拡大中

建築リニューアル（国内外合計） 営業利益（1Q）実績

（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期	2024/3期 ¹			
	1Q実績	1Q実績	1Q実績	計画	進捗率	前期比
営業利益	243	238	483	1,443	33.4%	244

内、国内 建築リニューアル

受注高	4,962	3,521	9,988	20,000	49.9%	6,467
完成工事高	3,746	2,686	3,466	18,300	18.9%	780
営業利益	251	86	42	1,120	3.7%	△43
営業利益シェア	121.5%	8.7%	—	27.3%	—	—

内、ASEANリニューアル

受注高	18	1,172	4,008	9,700	41.3%	2,836
完成工事高	437	1,998	2,047	10,000	20.4%	48
営業利益 ²	-7	152	440	323	136.2%	288
営業利益シェア	—	15.5%	—	7.9%	—	—

1. 連結営業利益がマイナスである都合上、リニューアル営業利益の連結営業利益におけるシェアは算出せず

2. ASEAN子会社ののれん償却費を含む

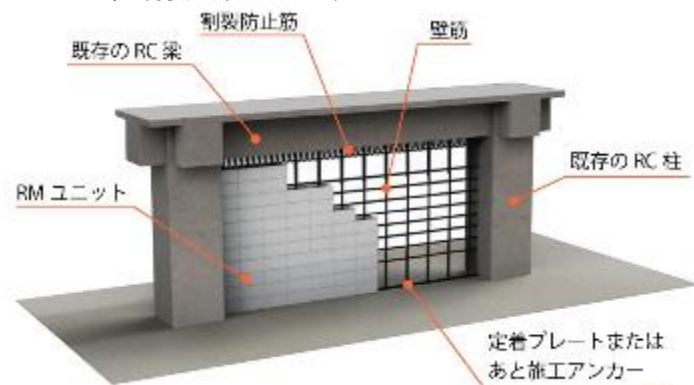
2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(1) 維持・修繕事業（リニューアル） ②技術の高度化・社内展開

- 弊社独自技術を用い、顧客宛の建物リニューアルの提案を強化
- 技術発表会を開催し、作業所における独自技術を社内で水平展開

耐震補強技術

当社独自技術「安震ブロック」では場所をとらず建物を使用しながら、耐震化が可能



実際の施工現場にて当該技術を使用



施工状況

技術発表会の開催

技術や改善策を社員から募り、優秀なものを表彰し、水平展開すべく発表会を開催（今年で16回目）



表彰式の様子

優秀賞

- ・ DX推進による空間情報利活用と管理モデルの試行
- ・ 柱RC梁Sハイブリット構法における鉄骨工事
- ・ 直接基礎地盤面の品質確保のための地下水位低下工法の工法比較
- ・ マイクロスコープを用いた仕上材の劣化状況の観察による劣化診断システムの高度化

環境技術賞

- ・ 環境配慮型コンクリート「BB+FAコンクリート」の概要と実施工

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(1) 維持・修繕事業（リニューアル） ③ASEAN地域での事業強化

- シンガポールでは買収した2社のリニューアル関連子会社の業績が好調に推移
- タイでは炭素繊維シートによる橋等の補強事業を推進（JICA支援事業に認定）

シンガポール

買収 子会社名	SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.			EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD.		
買収時期	2018年10月			2022年1月		
事業内容	リニューアル工事、建物塗装			建物メンテナンス、電気・設備工事、リニューアル		
業績	2023/3期 1 Q	2024/3期 1 Q	前期比	2023/3期 1 Q	2024/3期 1 Q	前期比
受注高	575	2,920	2,344	596	1,088	492
売上高	521	1,118	597	1,477	1,298	△179
営業利益	△1	85	86	193	398	204
のれん	7	8	—	32	35	—

タイ

子会社名： Thai Asanuma Construction Co.,Ltd.
 設立時期： 2021年7月
 事業内容： 高速道路・橋梁のメンテナンス

- ・ 東レ株式会社、東レインターナショナル株式会社と協働し、炭素繊維シートによる橋・高架橋の補強事業を推進中
- ・ 2021年にJICA SDGsビジネス支援事業に採択され、受注獲得へ営業を強化中
- ・ パイロット事業としてタイ現地に高架橋の断面補修及び炭素繊維シート補強工事を実施



第1回パイロット事業を実施

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(2) 生産労働人口の減少への対応 DX推進

- 3Dを活用した学習システム「現場トレーナー」を共同開発、6月にリリース
- DX推進委員会にて引き続きDX化を推進

3Dを活用した学習システム「現場トレーナー」を共同開発、6月にリリース

- ① アドベンチャーパート
施工中の建物（S造とRC造）をバーチャルにて再現し、作業所内を自由に歩きながら様々な問題を解決する
- ② ドリルパート
アドベンチャーパートで経験を積むと240問からなる様々な問題が出題される



DX推進委員会にて主に施工に関わる高度化・効率化に資するDXを推進

- ✓ BIM・CIM関連の導入推進、タブレットを使用により、施工業務の高度化
- ✓ 書類・業務の電子化による既存業務の効率化

2. 中期3ヵ年計画の進捗状況

(3) 非財務経営活動(ESG・SDGs等)

- 環境への取り組みとして、CO₂削減目標にスコープ3カテゴリ11を追加。より広範でのCO₂削減を目指す
また2022年度のスコープ1・2におけるCO₂削減実績を鑑み、より高い目標を設定する予定
- その他非財務経営活動として、取締役・執行役員に加え、従業員にも譲渡制限付株式報酬制度（RS）を導入

より広範囲且つ高いCO₂削減目標を設定

- CO₂削減目標にスコープ3カテゴリ11を追加
- 2022年度のスコープ1・2のCO₂削減実績は、
図表2の通り、大幅に削減。
これを踏まえ、更に高い目標を設定する予定

(図表1)

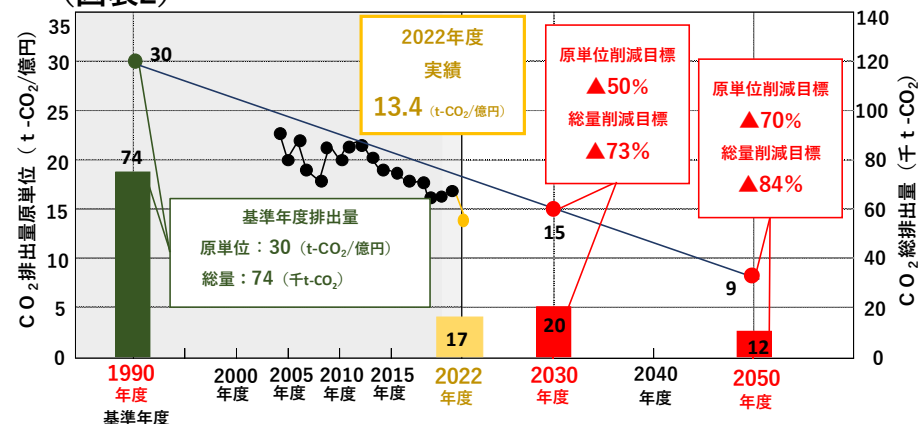
対象	単位	基準年度		実績 2022年度	目標年度	
		年度	排出量		2030年度	2050年度
スコープ1+2 (建設工事のみ対象)	原単位 t-CO ₂ /億円※1	1990	30	13.4	15	9
					▲50%	▲70%
スコープ3カテゴリ11 (自社設計+他社設計)	総量 t-CO ₂	1990	74,193	17,000	20,032	11,871
					▲73%	▲84%
スコープ3カテゴリ11 (自社設計+他社設計)	総量 t-CO ₂	2021	693,428	647,430	589,414	450,728
					▲15%	▲35%

※1：完工高1億円当たりの排出量

(参考) CO₂のカテゴリー

- スコープ1：事業活動で発生するCO₂
- スコープ2：電気ガスの使用による間接排出のCO₂
- スコープ3カテゴリ11：お客様にお引渡しした建築物の使用時に排出されるCO₂

(図表2)



従業員向けRS導入

- 対象：当社従業員1,330名
- 株式数：42,560株（普通株式）
- 目的：当社の企業価値の持続的な向上のインセンティブ付与、株主の皆さまとの一層の価値共有

優秀賞など5編

浅沼組が技術発表会

浅沼組は2023年度技術発表会を東京本店で2日に開いた。19年度以来4年ぶりに対面で開催。社員投票と審査で選ばれた優秀賞4編、環境技術賞1編の計5編の担当者が発表と質疑応答を行った。ウェブ配信を併用し、全国の作業所や支店などから計約300人以上が視聴した。

開催に先立ち、浅沼誠社長は「名古屋支店改修プロジェクトはグッドデザイン賞ベスト100に選ばれるなど多くの賞に輝いた。独自の技術とノウハウは現場の社員の皆さんの果敢なチャレンジによって培われる。1年間のチャレンジの結果を披露する場が技術発表会であり、引き続き積極



的な応募をお願いしたい」とあいさつした。写真（浅沼組提供）。

5編の技術発表に続き、日本大学危機管理学部の木下誠也教授が「インフラ整備は国家百年の計」と題し講演した。

発表演題は次の通り。

【優秀賞】DX推進による空間情報利活用と管理モデルの試行▽柱RC梁SHアイブリッド構法における鉄骨工事▽直接基礎地盤面の品質確保のための地下水位低下工法の工法比較▽ディープウェル工法の採用と実績及び地下水再利用による環境負荷低減について▽マイクロスコープを用いた仕上材の劣化状況の観察による劣化診断システムの高度化

【環境技術賞】環境配慮型コンクリート「B+B+Aコンクリート」の概要と実施工。

現場トレーナー製作委員会

現場トレーナー製作委員会

浅沼組、青あすなろ建設など各社が参加し、現場トレーナー製作委員会（CST）で構成する「現場トレーナー製作委員会」は、青あすなろ建設のバーチャル空間で、浅沼組のノウハウを共有する体験型施設「現場トレーナー」を開発した。バーチャル空間で、浅沼組のノウハウを共有する体験型施設「現場トレーナー」を開発した。バーチャル空間で、浅沼組のノウハウを共有する体験型施設「現場トレーナー」を開発した。



浅沼組、青あすなろ建設など各社が参加し、現場トレーナー製作委員会（CST）で構成する「現場トレーナー製作委員会」は、青あすなろ建設のバーチャル空間で、浅沼組のノウハウを共有する体験型施設「現場トレーナー」を開発した。

ある程度経験を積み、現場に入るには、中堅社員が中心となる。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。



バーチャル空間でノウハウ取得

浅沼組は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。



浅沼組は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。

浅沼組は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。

浅沼組は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。現場監督は、現場監督のノウハウを共有する必要がある。

2023/8/10 日刊建設工業新聞

2023/5/31 日刊建設通信新聞

Memo

はこ
誇れる歴史がある
つく
創りたい未来がある



The logo for Asanuma, featuring a stylized blue 'A' with a red dot above it.

株式会社 浅沼組

はこ
誇れる歴史がある
つく
創りたい未来がある



お問合せ先

コーポレート・コミュニケーション部

T e l 06-6585-5500

F a x 06-6585-5556